



奈良県感染症発生動向調査還元情報 (週報)

奈良県感染症情報センター

(奈良県保健研究センター内) Nara IDSC

今週の概要

- 第 21 週の感染症情報
- 奈良県結核患者情報 (平成 25 年 4 月)

第 21 週の感染症情報 (5月20日(月)~5月26日(日))

奈良県および医療圏別発生状況 (奈良県上位 5 疾患) (5 週前からの動向)

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	6.14	→	→	→	↓
2	A 群溶連菌咽頭炎	1.31	→~↑	→~↑	↑	→~↓
2	水痘	1.31	↑	↑	↑	↓
4	インフルエンザ	1.20	→~↓	→~↓	→~↓	→
5	手足口病	0.66	↑↑	→	↑↑	↓

全県の動きと目立って異なる推移 (定点当りの変化程度で実数ではない) を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数 (20→21 週) は 216→216 例と変化がなかった。上位 5 疾患は①感染性胃腸炎 (121→102 例)、②インフルエンザ (30→32 例)、③A 群溶連菌咽頭炎 (24→27 例)、④水痘 (16→27 例)、⑤突発性発しん (10→11 例) であった。眼科定点の報告は流行性角結膜炎が 2 例あった。基幹定点の報告はなかった。

(有山 記)

県中部地区概況 報告数は 203 例で、前週報告の 202 例から横ばい。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③インフルエンザ、④水痘、⑤A 群溶連菌咽頭炎の順。手足口病の報告数 (5→20 例) は、増加。A 群溶連菌咽頭炎の報告数 (17 例) も、増加。水痘の報告数 (18 例) は、やや増加。感染性胃腸炎の報告数 (98 例) は、一転減少。インフルエンザの報告数 (29 例) も、減少。依然インフルエンザ定点からの報告が、桜井 HC 管内; 4 例、葛城 HC 管内; 25 例の計 29 例で、定点当たりの報告数は 1.32 と減少した。桜井 HC 管内眼科定点から、流行性角結膜炎の報告が 4 例あった。桜井 HC および葛城 HC 両管内基幹定点からの報告は、共になかった。

(村井 記)

県南部地区概況 報告数（第20週→第21週）は56例→23例と減少。報告のあった疾患は、①感染性胃腸炎（35例→15例）、②インフルエンザ（4例→5例）、③A群溶連菌咽頭炎（8例→2例）、④水痘（2例→1例）であった。

（柳生 記）

感染症情報センターホームページ <http://www.pref.nara.jp/27874.htm>



【奈良県結核患者情報】

奈良県感染症情報センターでは、結核患者発生動向情報を提供しています。
4月に届出があったのは、以下のとおりです。

表 結核届出数（5月30日現在）

市町村	4月	総計	
北部	奈良市	13	30
	大和郡山市	1	9
	天理市		5
	生駒市	5	13
	山添村		
	平群町	1	2
	三郷町		2
	斑鳩町	1	2
	安堵町	1	2
中部	大和高田市		5
	御所市	1	3
	香芝市		1
	葛城市	1	2
	上牧町		
	王寺町		1
	広陵町	2	5
	河合町		2
	橿原市	2	7
	桜井市	3	5
	宇陀市	1	2
	川西町	1	2
	三宅町		
	田原本町	3	5
	曾爾村		
	御杖村		
	高取町		
明日香村			
南部	吉野町		1
	大淀町		1
	下市町		
	黒滝村		
	天川村		
	下北山村		
	上北山村		1
	川上村		
	東吉野村		
	五條市		1
	野迫川村		
十津川村			
合計	36	109	

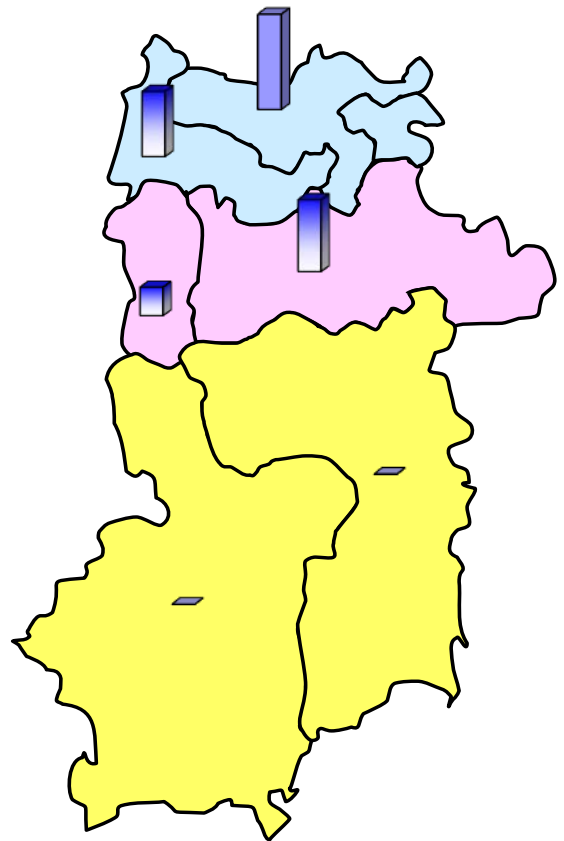


図. 保健所別届出数
(平成25年4月受理分)